

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-03-2
原子炉建屋内 (RB)	RB	5	1 時間		
タービン建屋内 (TB)			2 距離		
R ZONE (R)			3 遮へい		
Y ZONE (Y)			4 線源の除去		
G ZONE (G)			5 遠隔、ロボット化		
その他 ()			6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内 容	大型ガレキ（支障鉄骨等）撤去装置の使用
作業部位	1号機原子炉建屋5階（オペフロ）
概 略	大型ガレキ（支障鉄骨等）撤去装置を開発し、遠隔操作で使用。

評 価 (定性 定量)	効 果	対策前		対策後	
		被ばく線量(mSv)	※3,021	※1,278	
		人工数(人日)	8,036	4,088	

事例詳細 ※28-03-1、28-03-2、28-06合計の値

対策前 ガレキは大小さまざまで、1つのガレキ撤去装置ではガレキ除去が困難であった。

対策内容 大型ガレキ用に、遠隔ガレキ撤去装置を開発、使用した。

(2) 遠隔ガレキ撤去装置による大型ガレキ（支障鉄骨等）の撤去

既存オペフロ鉄骨の上には小ガレキのほかに、折れ曲がった鉄骨や配管等の大型ガレキが引っ掛かっており、障害となっていた。

小型のカッター・ペンチ機能を有するガレキ撤去装置を開発し、小ガレキ吸引と同様に遠隔作業で大型ガレキの撤去を実施した。



▲装置全景
(クレーンで吊り下げて使用)
重 量： 約 18t
駆動装置： 油圧

小型カッター▼

